

地震への対応について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2018年6月19日）

京都大学は、6月18日に大阪府で発生した地震を受けて、花折断層の存在とその危険性をKULASISのInformationなどを通じて全学に周知するとともに、非常時の安否確認システムについても今一度アナウンスすべきです。特に花折断層は、元々京都市周辺に住んでいれば知る機会があっても、京大の多くを占める地方出身者には存在すら知られていない可能性が高いと考えます。

また、京都市によると、花折断層を震源とする地震では、“京都市域は全域震度5強以上（中略）左京区、東山区、（中略）の一部で震度7となる地域があります。”とされており、花折断層の危険は京大生や職員にとって身近な問題です。

【回答】（回答日：2018年6月27日）

（総務担当理事 森田正信、施設担当理事・副学長 佐藤直樹、学生担当理事・副学長 川添信介）

ご意見ありがとうございます。

今回の地震災害を受けまして、安否確認システムを活用した危機対策本部等運用訓練を近日中に実施することとしました。

ご指摘の花折断層の危険性を含めまして、みなさんが居住する地域の防災情報については、自治体のHP等で是非とも日頃から確認をしておいていただきたいと思います。大学としましても、入学時に地震対応マニュアルを配布するなど周知に努めているところですが、情報発信のあり方につきましては、今回の事例を念頭に置き、一層の改善に努めたいと考えております。